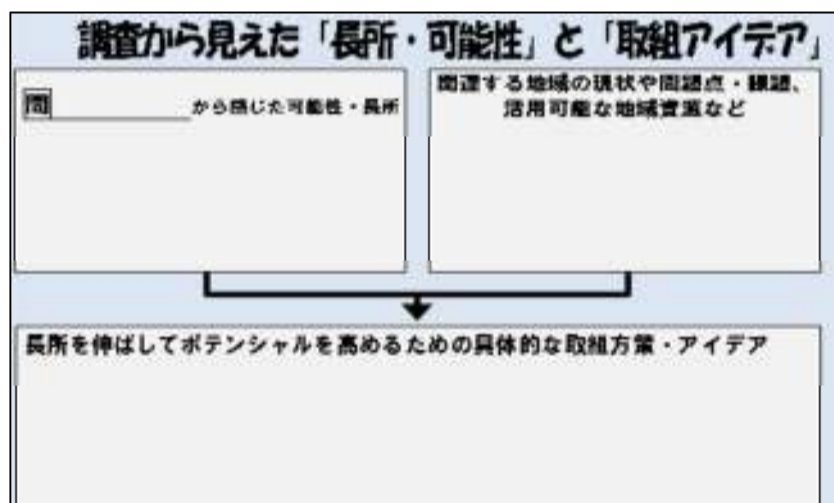


## 「第10回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第10回ミーティングを開催しました(平成26年8月22日)。約10か月に渡ったミーティングではこれまで、調査票の作成、結果の分析、活動の振り返りを行い、今回が最後となりました。今回は、アンケート結果の活用として、取組のアイデアを考えるワークショップを行いました。



第10回のミーティングでは、ながくて幸せ実感調査アンケート結果から、まちの長所や可能性、課題を見つけ、地域の現状と重ねた上で、今後のまちづくりにおいての長所を伸ばす具体的な取組や、課題解決の取組のアイデア(対策、施策、イベント等)を考えました。結果の共有では、みんな考えた取組アイデアは、議論だけで終わってしまうのではなく、実際に、行動に移していくことが必要であるとの声が多く上がりました。



可能性・長所	地域の現状・地域資源	取組アイデア
挨拶をする人の割合が高い。	知り合いでない人との挨拶は希薄。	あいさつリーダー、あいさつマイスター
「環境」を大切に思っている。	学生、若者、ボランティア	環境ビジョンのワークショップ開催。
家庭内でのコミュニケーション点数が高い。	核家族、コミュニケーション不足。	家族自慢発表会。
芸術文化に接する機会に恵まれている。	若い世代の近所づきあいが希薄。	アートフェスティバルの地域対抗戦。
問題点・課題	地域の現状	取組アイデア
単身世帯の幸せ感が低い。	学生が多い。	[学生塾]学生が子どもに勉強を教える。
地域の子どものコミュニケーションがとれていない。	地域に出てるのに抵抗が・・・	交流できる場所づくり。
市内の福祉サービスを知っている人が少ない。	介護をする(していく)中で不安を感じている人が少なくない。	事業所を実際に見学。様々なサービスをしてもらう。参加者同士での交流。

### 【今後の活動について】

今後は、「ながくて幸せ実感調査隊」の活動により得られた、ながくて幸せ実感調査アンケート及びその結果について、これまでの活動報告、結果の公表、アンケート結果データの提供などを行い、市民のみなさまに、この活動から得られた成果を地域の現状を測る道具として広く活用していただけるような取組をしていきたいと考えています。